

## 2-5 江刺における地殻変動連続観測

### Continuous Observations of Crustal Movements at the Esashi Earth Tides Station

国立天文台水沢

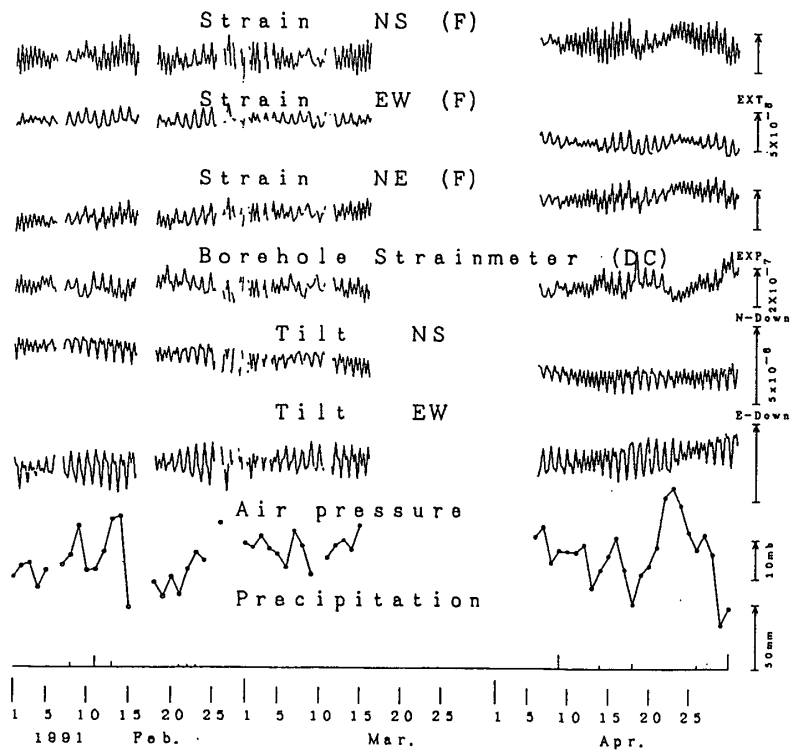
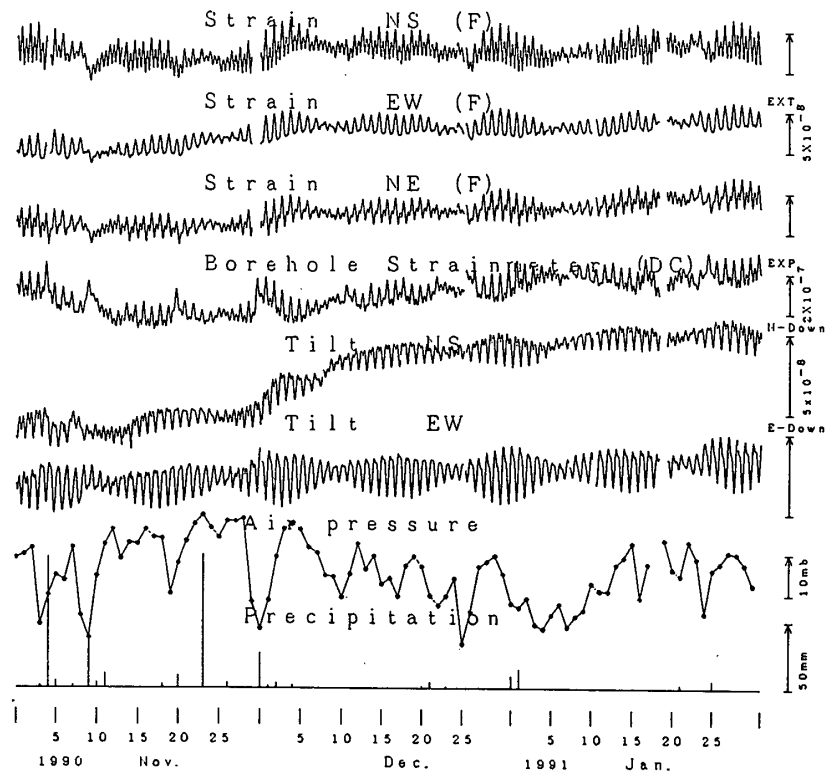
National Astronomical Observatory, Mizusawa

国立天文台水沢観測センターの江刺地球潮汐観測施設において、1991年4月末までに得られた精密連続観測の結果を報告する。観測機器とその配置については既報<sup>1)</sup>のとおりである。当施設は、従来からの極めて小さい経年変動を示すことが判明している。

第1図は最近6カ月間の石英管伸縮計、水管傾斜計およびボアホール体積歪計の各成分の毎30分値であり、落雷やテレメータ機器の故障などによる欠測を含むものとともに異常は認められなかった。第2図以降のデータはすべて日平均値であり、第2図と第3図は最近の1年間、第4図は当施設開設以来の変動を示している。これらの図から明らかなように、最近の6カ月間もひきつづきいずれの成分においても静穏に経過した。

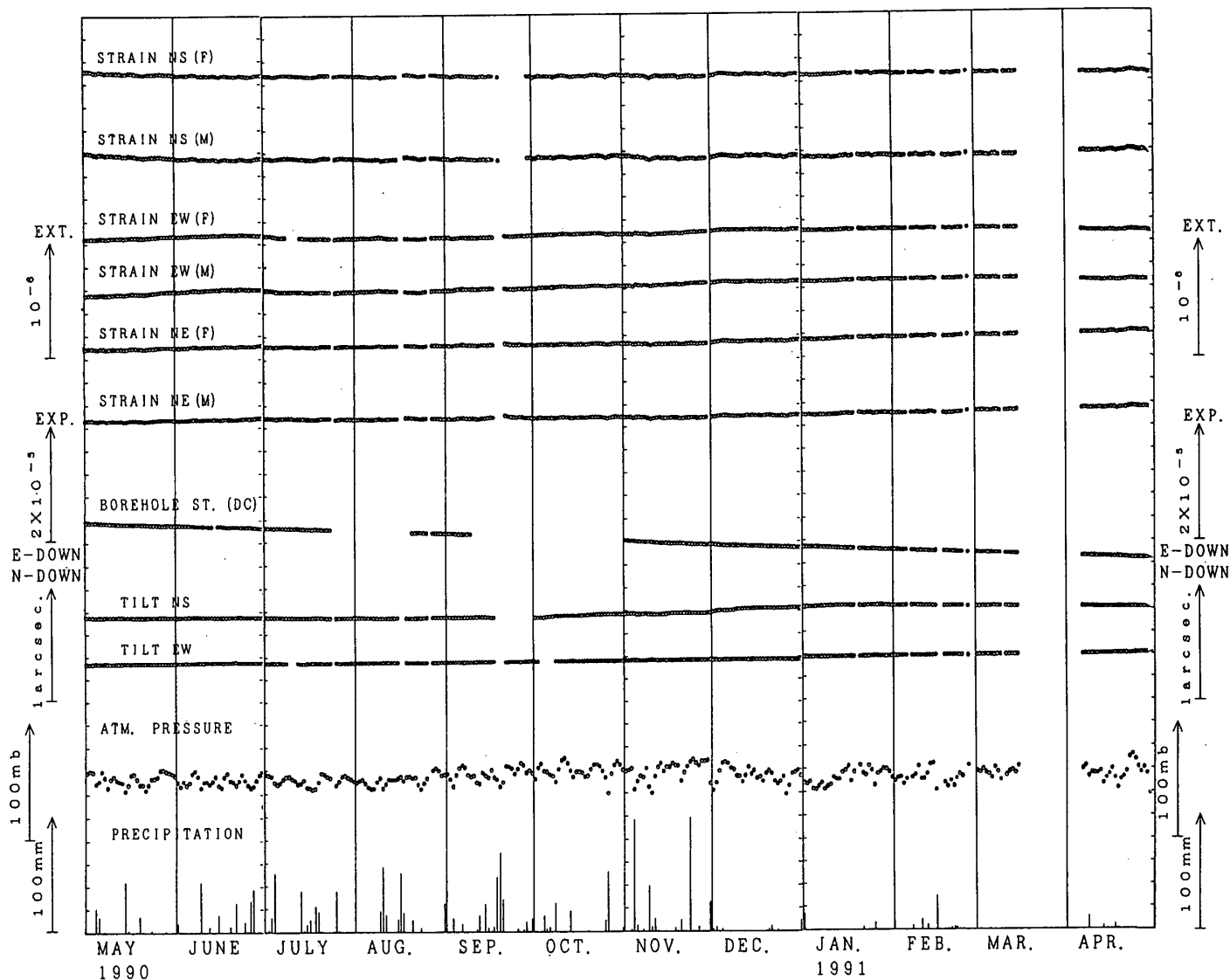
#### 参 考 文 献

- 1) 国立天文台水沢：江刺地球潮汐観測施設における地殻変動連続観測，連絡会報，42(1989)，66-69.



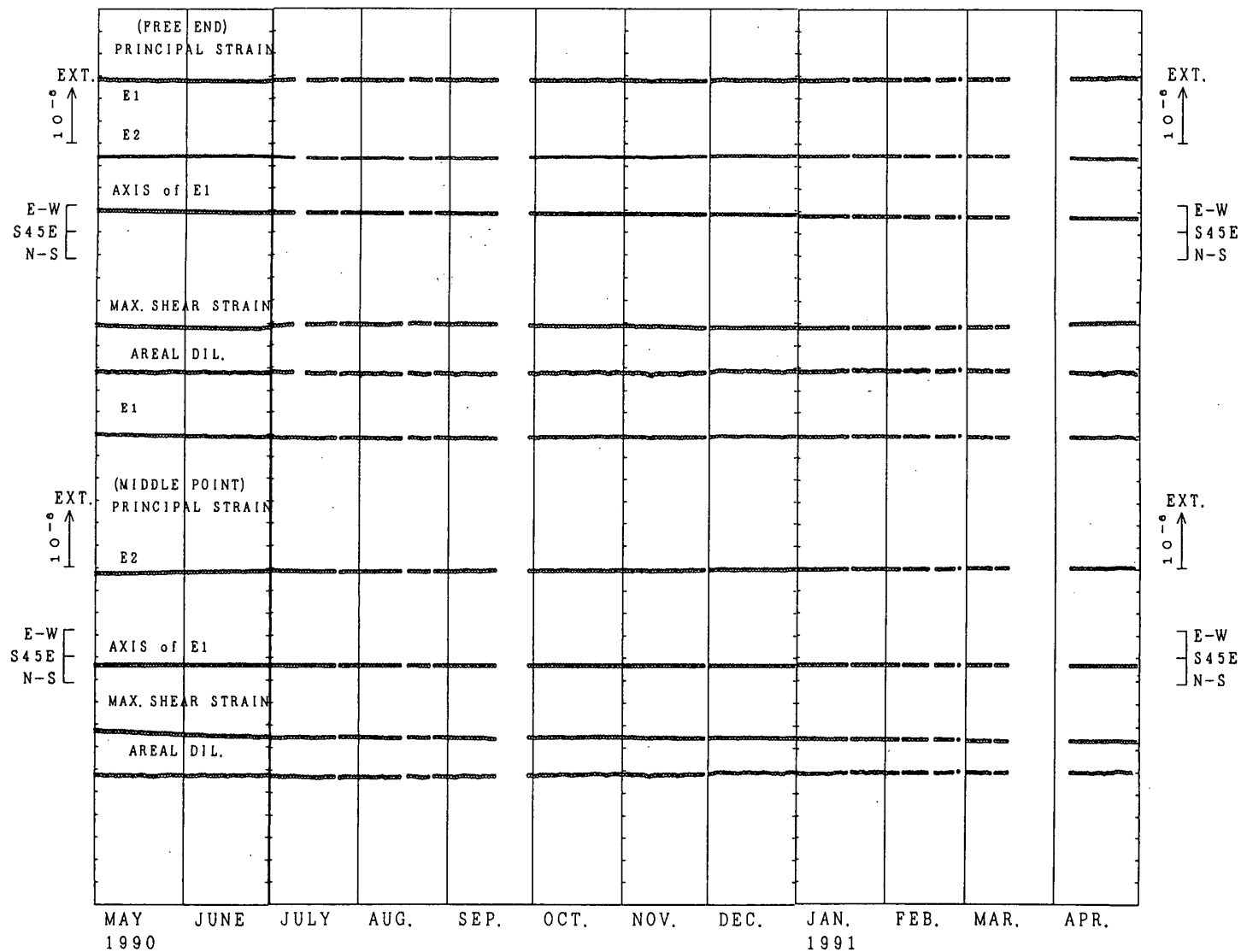
第1図 江刺地球潮汐観測施設における地盤の歪及び傾斜の毎30分値

Fig. 1 Every 30 minutes data of observed ground tilt and strain with water-tube tiltmeters and quartz-tube extensometers during November 1990 – April 1991.



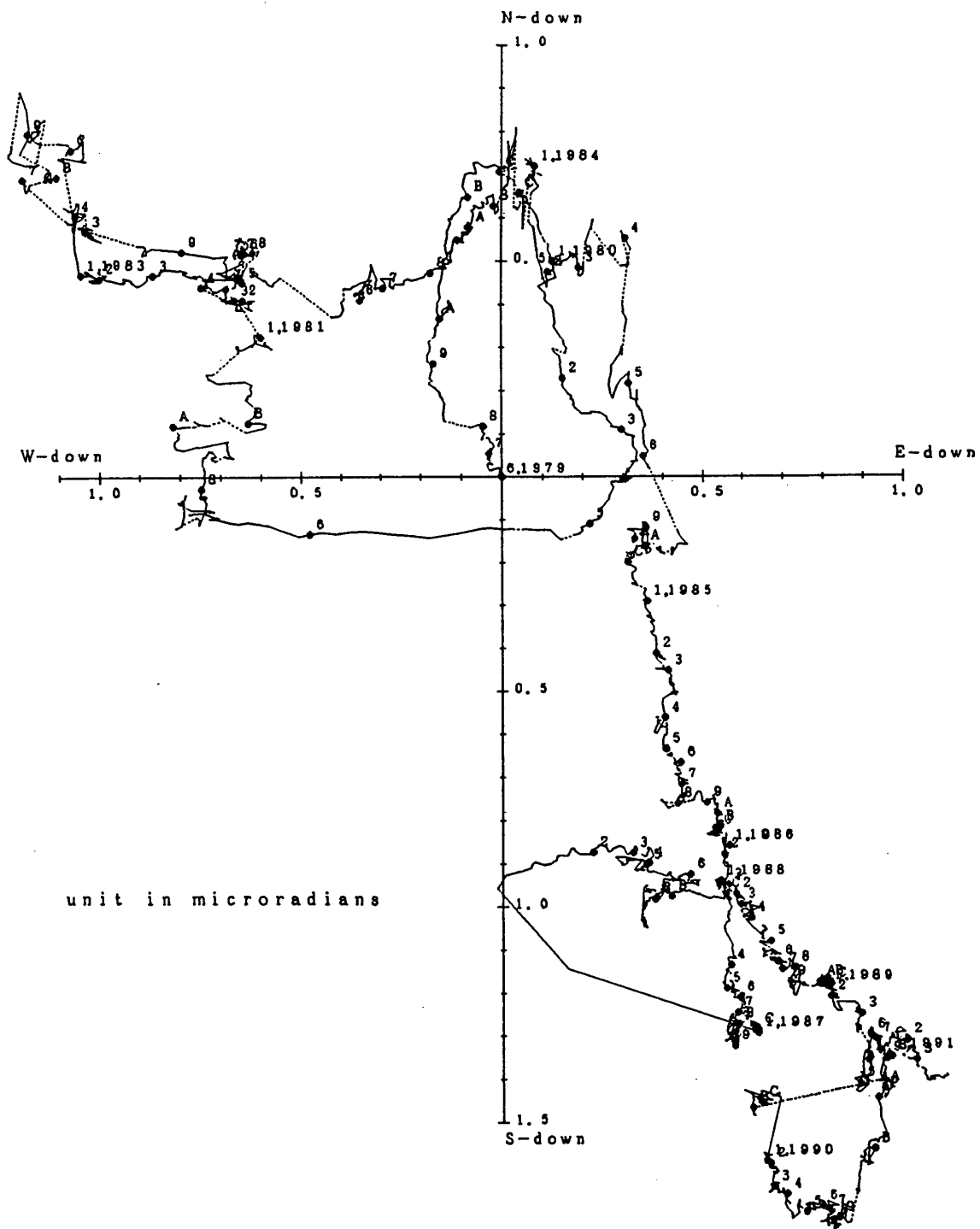
第2図 最近1年間の傾斜および歪変化の日平均値

Fig. 2 Daily means of observed ground tilt and strain during May 1989 – April 1990.



第3図 最近1年間の主歪，最大剪断歪及び面積歪の日平均値

Fig. 3 Daily means of derived principal strain, maximum shear strain and areal dilatation during May 1990 – April 1991.



第4図 1979年6月の施設開設以来の経年傾斜変動ベクトル

Fig. 4 Secular tilting motion since of June 1979 when the station opened.